

東日本大震災から 2 年を迎えて

特定非営利活動法人レスキューストックヤード

代表理事 栗田暢之



全世界を震撼させた大災害から 2 年の月日が流れた。震災当初は、いったい何からどのように始めればいいのかさえわからないと誰もが思ったほど、未曾有、広範囲、複雑（特に原発事故）な災害である。当法人としては、5 年前から賛助団体会員のご縁があった宮城県七ヶ浜町社会福祉協議会からの要請を受け、七ヶ浜町災害ボランティアセンター（当時）に隣接する場所に、当法人の拠点となる「ボランティアきずな館」を設置し、延べ 3 千人のボランティアを名古屋から送り続けるなどの活動を継続している。また、阪神・淡路大震災を機に設立した「震災がつなぐ全国ネットワーク」と日本財団 ROAD プロジェクトとの合同で、足湯ボランティアを送り続け、これまでに 1 万 5 千人の足を温め、被災者の生の声に耳を傾けてきた。また全国の NPO・NGO、企業等 850 団体が集う「東日本大震災支援全国ネットワーク」や愛知県に避難されている人々を支援する「東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや」「愛知県被災者支援センター」の設置・運営にも参画してきた。

「震災から 2 年」ということであるが、個人的にはあまり実感はない。むしろあの日以降時間だけが慌ただしく過ぎ去り、肝心の真の復興という観点からは、当方はあまりに力不足であり、むしろこれからより深く本質を貫いていかなければならないための「通過点」だと思っている。

被災者の現実はこちらだ。「もう一生分泣いた。」とまた泣きながら語る子を失くした母親、「まだ海は見られねえ。悪夢のようなあの日を思い出すから。」と訴える老婆、「何もかも全部流れてしまった。でも一からやり直すしかないんだ。」と気張る父親世代、「まだ好きな子はできない。だって（好きだった子が）流されちゃったんだもん。」とふさぐ小学生（男子）…。被災者の無念、苦悩、将来への不安は時間の経過とはあまり関係ない。むしろ一人ひとりの現実が個別化、深刻化、潜在化しており、決して震災当初の混乱期だけが災害ではないということ、そして、私たちボランティアが傷を癒すなどといったおこがましいことではなく、単純に「忘れない」「ずっと交流を保ち続ける」ことが大切だと考えている。この意味で、3 年目の当法人の支援活動はこれまでと遜色ないものにするつもりである。そしてこれまでの「顔見知り」の関係から、一人でも多くの「親友」を創りたいと願っている。なぜなら、たとえ遠く離れていても、親友はその存在だけで安心につながり、頼ったり頼られたりする関係がずっと続くと思うからだ。

一方で、原発事故によるもう一つの惨事を決して忘れてはならない。ある集会で「私たちは被災者ではなく被害者です」と言われた方があった。あの日より前は、普通の幸せをいつも通り送っていた市民に、突然得体の知れないものが降ってきて、そもそも降ったか降らなかったのか、その正体は何なのか、またどのくらいの量なのかなど、正確な情報が伝わらなかったことに加え、政府は「今すぐ健康を害することはない」との発言を繰り返すだけである。有識者や専門家の間でも見解は分かれ、結果として何を信じていいのかさえわからないといった現実が今なお続いているのである。「外の空気、水道の水、靴についた泥、おじいちゃんがいつも通り持ってきてくれる野菜、宅配便、来客…」と。そして避難した方は「私たち親はいい。でも子どもたちが何年後かに癌になる可能性が否定できないなら、今避難することを決心しなければ後悔すると思った」と慣れない土地への引っ越しを決意した。一方留まる方は「なぜ避難しないのかと言われることが一番つらい。お金もないし、行く宛てもない。」と葛藤の胸中を明かす。つまり、留まる人、避難する人にかかわらず、この課題を背負っているすべての方の「それぞれの選択」をまずは尊重すべきだということ。国や東電からの賠償や暮らしの補償は当然のことながら、何より大切なことはこの問題に他者が「無関心」であってはならないことだ。「福島の問題」ではなく、「日本全体の最重要課題」なのだということ認識し、一緒に考えることが大切である。

いずれにしても、東日本大震災は現在進行形の災害である。これまで当法人への有形・無形のご支援・ご協力に心より感謝申し上げ、引き続き息の長いご支援・ご協力・ご助言を賜りたく、今後ともよろしくお願いたします。

10年後も 20年後も「忘れない」に取り組む。



次の被災地へ、私たちの地域へしっかりつなぐ。



関わり方は人それぞれ。あなたも RSY の会員になりませんか？

特定非営利活動法人レスキューストックヤード入会申込書

□新規		申込日	年 月 日
会員の種類	正会員 個人□10,000 円 □5,000 円 □3,000 円 (学生のみ) (1年間有効・議決権あり) 団体□10,000 円 (1年間有効・議決権あり) 賛助会員 個人□10,000 円 □5,000 円 □3,000 円 (学生のみ) (1年間有効・議決権なし) 団体□50,000 円 □30,000 円 □10,000 円 (1年間有効・議決権なし) キッズ□3,000 円 (1年間有効・議決権なし) 購読 購読□ (円)		
ふりがな		ふりがな	
個人または団体名		団体代表者名	※団体会員でお申込みの方のみご記入ください。
ふりがな			
住所	〒		
会報誌「あるある」の発送を希望されますか？ ※ご希望の場合は、上記住所に送付させていただきます。		□はい □いいえ	
TEL		FAX	
E-mail			
メーリングリストへの登録を希望されますか？ ※ご希望の場合は、上記 E-mail アドレスを登録させていただきます。		□はい □いいえ ※ファイル添付等のメールがありますので、PC アドレスをおすすめいたします。	
入会するきっかけ			
希望するボランティア	<input type="checkbox"/> 緊急時等の災害ボランティア <input type="checkbox"/> 運転手として <input type="checkbox"/> 力仕事 <input type="checkbox"/> イベント支援 <input type="checkbox"/> 資器材発送・整理 <input type="checkbox"/> 街頭募金活動	<input type="checkbox"/> 会報誌「あるある」編集委員 <input type="checkbox"/> 会報誌「あるある」発送作業 <input type="checkbox"/> 事務所支援 <input type="checkbox"/> パソコン操作 <input type="checkbox"/> なんでも OK その他 ()	会費納入方法 <input type="checkbox"/> 郵便振替 <input type="checkbox"/> 銀行振込 <input type="checkbox"/> 事務所に持参 <input type="checkbox"/> その他 ()
入会特典「じしんだゾウさんてぬぐい」ご希望の色	□ブルー □ピンク		
会員 No.	登録日	年 月 日	

【本書は郵送またはファックスまたはメールで下記宛にお送り下さい】

〒461-0001 名古屋市中区泉 1-13-34 名建協 2 階 特定非営利活動法人 レスキューストックヤード

TEL: 052-253-7550 / FAX: 052-253-7552 / E-mail: info@rsy-nagoya.com / HP <http://www.rsy-nagoya.com>

【会費のお振込みは郵便振替または銀行振込にてお願いします】

・ 郵便振替 / 00800-3-126026 加入者名：特定非営利活動法人 レスキューストックヤード

・ 銀行振込 / 三菱東京UFJ銀行 本山出張所 普通3505681口座名義：特定非営利活動法人 レスキューストックヤード